

# 「今後の治水対策の進め方」 に関する確認事項について

平成24年12月4日(火)  
大阪府都市整備部河川室

# 1. 前回の治水専門部会における 「今後の治水対策の進め方」(H22.6)に関わる留意点

## ★留意点（イ）

田畑等で浸水するも、

人命への影響がない場合の当面の治水手法のあり方

(人命への影響がなくとも、少なくとも50mm対策は実施するのか?)

## ★留意点（ロ）

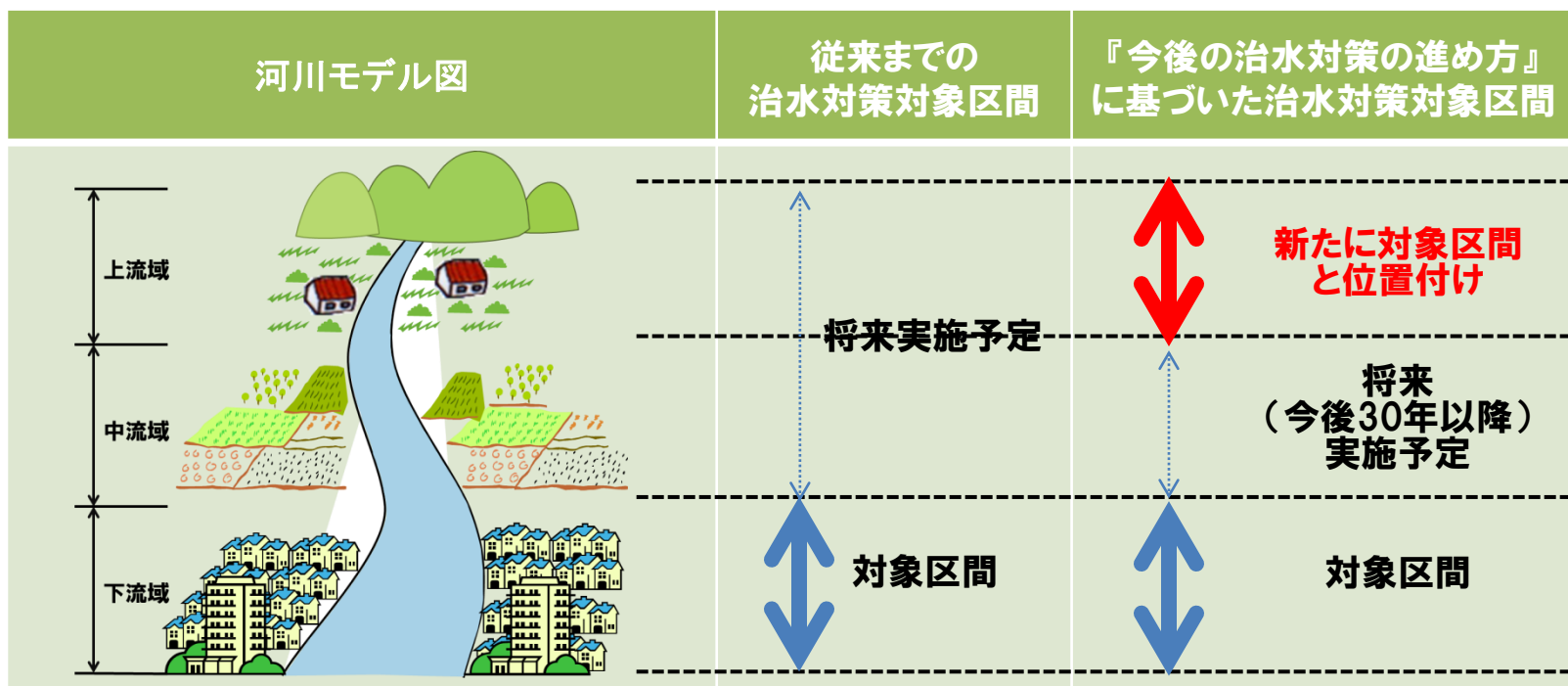
人命を守ることを最優先とした基本方針のもと

田畑である中流域より、人家がある上流域を優先して

治水対策するか?

## 2. 前回の治水専門部会における論点整理結果

- ①これまで治水対策の対象としてこなかった、**家屋が点在しているような山間部区間も、人命最優先の視点に立ち、新たに対象に加えていることを**  
しっかり説明すること



## 2. 前回の治水専門部会における論点整理結果

②各区間の治水対策の優先順位に関して、様々なケースでの浸水リスクを比較し、

河川全体としてよりリスクの小さい整備手順を合理的

ポイント①

とするとともに、

上流の対策を先行することでリスクの変化が想定される区間  
に対しては、前後比較によりリスク変化の度合いを確認する

ポイント②

こと。

# ポイント① 河川全体としてよりリスクの小さい整備手順を合理的

注)数値は、氾濫シミュレーションに基づいた値ではない。

下流域及び中流域を当面の治水対策後		左記対策後で、当面の治水目標の雨が降った場合の被害状況	
上流域	未対策	被害額 : 5百万円(±0) 被害面積 : 3ha (±0) 被害人口 : 20人 (±0) <内、5人は床上浸水>	<b>流域全体の被害状況</b> 被害額 : 5百万円(▼40) 被害面積 : 3ha (▼10) 被害人口 : 20人 (▼100) <内、5人は床上浸水>
中流域	対策実施	被害額 : 0百万円(▼10) 被害面積 : 0ha (▼5) 被害人口 : 0人 (±0)	
下流域	対策実施	被害額 : 0百万円(▼30) 被害面積 : 0ha (▼5) 被害人口 : 0人 (▼100)	

※( )内数値は、未対策段階からの増減値

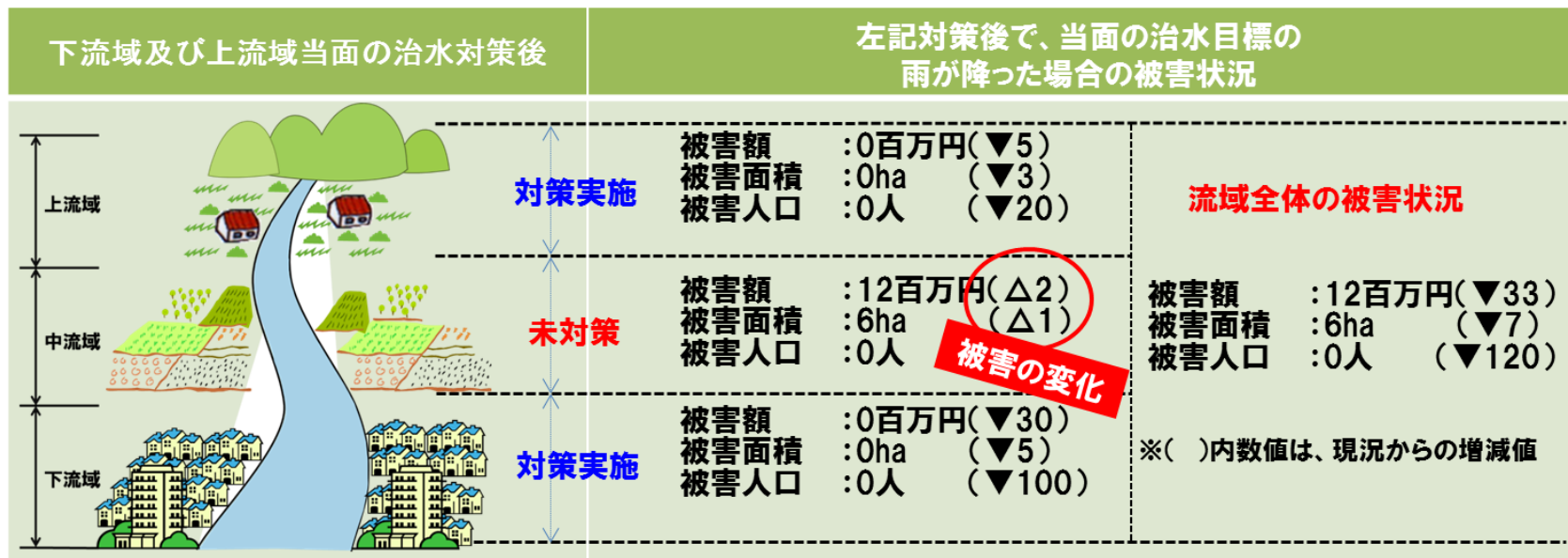
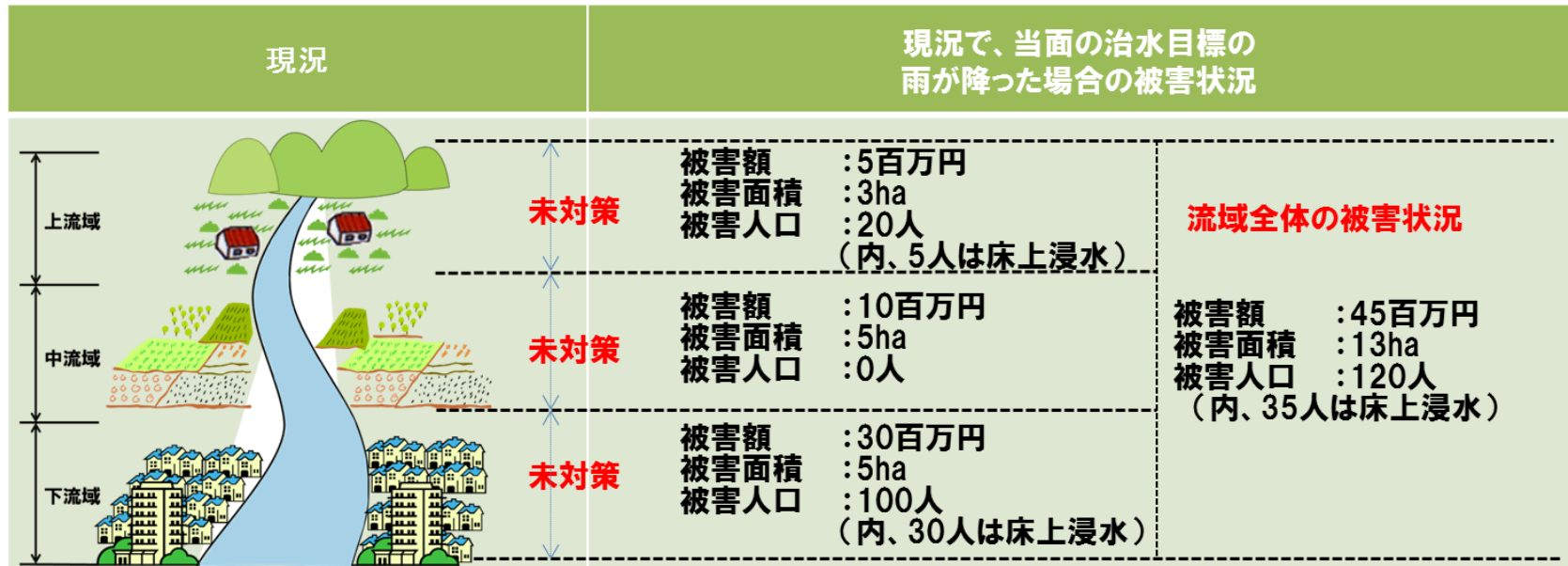
下流域及び上流域を当面の治水対策後		左記対策後で、当面の治水目標の雨が降った場合の被害状況	
上流域	対策実施	被害額 : 0百万円(▼5) 被害面積 : 0ha (▼3) 被害人口 : 0人 (▼20)	<b>流域全体の被害状況</b> 被害額 : 12百万円(▼33) 被害面積 : 6ha (▼7) 被害人口 : 0人 (▼120)
中流域	未対策	被害額 : 12百万円(△2) 被害面積 : 6ha (△1) 被害人口 : 0人	
下流域	対策実施	被害額 : 0百万円(▼30) 被害面積 : 0ha (▼5) 被害人口 : 0人 (▼100)	

※( )内数値は、未対策段階からの増減値



# ポイント② 上流の対策を先行することでリスクの変化が想定される区間に対しては、前後比較によりリスク変化の度合いを確認する

注)数値は、氾濫シミュレーションに基づいた値ではない。



## 2. 前回の治水専門部会における論点整理結果

①これまで治水対策の対象としてこなかった、家屋が点在しているような山間部区間も、人命最優先の視点に立ち、新たに対象に加えていることをしっかり説明すること

②各区間の治水対策の優先順位に関して、様々なケースでの浸水リスクを比較し、河川全体としてよりリスクの小さい整備手順を合理的とするとともに、上流の対策を先行することでリスクの変化が想定される区間に対しては、前後比較によりリスク変化の度合いを確認すること。

③その上で、リスク変化が受忍できるレベルであれば、田畑等の区間に関しては、治水対策の対象として優先順位を低くすることも考慮できること。

上記論点を踏まえた「今後の治水対策の進め方」の認識共有が必要

### 3. 論点整理を受けた「今後の治水対策の進め方」の補足

○「今後の治水対策の進め方」（H22.6）は大筋の考え方を示したものの。

○今回のテーマのように、個々の河川に対する今後の治水対策の進め方の議論を通じて得られた、直面した課題などに対する基本的な対処方針については、府域の他河川の議論に資するため、

#### 『今後の治水対策の進め方 補足資料』

を作成し、認識共有。

○今回のテーマ、これまでの部会で議論された内容、さらには今後、議論される内容も含めて、補足資料へ反映。



### 3. 論点整理を受けた「今後の治水対策の進め方」の補足

○ 『今後の治水対策の進め方 補足資料』への反映予定項目（案）

（これまで治水専門部会で審議されてきた項目として）

- ・ 人的被害が発生しない場合の治水対策のあり方（田畑の取扱い）
- ・ 氾濫解析での1洪水を対象にした破堤シナリオの考え方
- ・ 50ミリ対策の河道断面の考え方と当面の治水目標の設定フロー

※その他、総合的・効果的な治水対策の実施に関する府の考え方等についても記載予定。